

養老町学校再編専門部会 第2回総務部会 議事録

令和 8 年 6 月 19 日(金)午後7時～

役場3階第2会議室

【出席者：14 名】

◆総務部会部員：12 名（教育委員会教育総務課職員も含む）

◆事務局 2 名：早崎京子教育長、中島恵美教育委員会事務局長

早崎教育長	1. 教育長あいさつ お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。総務部会第2回目になるが、総務部会で話し合うことが分からないという話をいただいたので今回資料を提示させていただいた。総務部会は、新しい学校の名称や校章ならびに校歌の検討をはじめ、開校・閉校に係る行事の企画など統合後の学校経営の基盤となる事項について協議する部会であり、また、学校の歴史や伝統を大切に引継ぎながら、保護者や地域の皆さんとともに新しい学校づくりを進める役割を担っているというふうに考えている。総務部会でこれから相談していく中で、大切にしてほしいことをあげさせていただいた。子どもたちを中心に考えてほしい。統合のためにどうしたらいいかではなく、これからの子どもたちにとってより良い学校づくりをするためにはという視点で協議していただきたい。これから学校名や校歌などを考えていくかと思うが、長年培われた学校への愛着や地域の思いを大切に新しい学校をつくっていただきたい。保護者や地域住民の皆さんの意見を丁寧に聞いて、学校が減っても、地域とともにある学校をこれからもつづけていきたい。決める時には、公平性とか透明性を確保すること、また、これからの学校なので未来志向で考えていただきたい。情報共有を丁寧に行ってほしい。総務部会は、地域との合意形成をどのように図っていくかを中心に考えてほしい。
部会長	今日は、やるべきことを明らかにしながら進めていきたいと考えている。（資料に基づき説明）まず、目的①は、総務部会の目的全体工程を共有し見通しをもつこと。目的②は、地域との合意形成を図ること。目的①に関しては、この場で話し合ってもなかなか見えてこない。組織として準備委員会があって、その下に4つの専門部会がある。大元となる準備委員会で示されたものを受けて総務部会で検討する流れになるかと思う。目的②に関しては、住民代表として区長会長に参加していただいている。総務部会の役割としては、地域との合意形成ということがメインテーマとなると解釈している。また、検討・協議事項についてもまとめてみた。今、現在何をしなければいけないのかということ、地域の方の声を集約しながら、丁寧に地域の方に説明しながら合意形成を図っていくことがこの会の大事なところかと考える。跡地の方向性、留守家庭児童教室、地域での子どもの居場所づくりは他の部会の検討・協議事項と重なっている。これらの事項に関しては、今後のビジョンによって方向性が変わってくる。「子どもファースト」と言っているが、子どもの意見を取り扱う部会がない。前回も、子どもや保護者の声を拾い上げたいといった意見が出た。そこで、総務部会で、子どもたちの意見を拾い上げることが出来ないか考えた。8月に「子ども意見交換会」、12月に「住民説明会」がある。この件は、準備委員会及びコンサル主導のものであるが、総務部会として企画・運営面で一緒に取り組んでいけると良い。「地域での子どもの居場所づくり」「留守家庭児童教室に関すること」については、保護者や地域の意見を集約しながら進めていけるといい。今やるべきことは、合意形成として子どもたちの声をどうやって拾ってどう形にしていけるのかということと、住民説明会で何を伝えて何を吸い上げる

	のかを話し合うことか考える。
A 委員	子どもとは何歳から何歳までのことを指すのか。保育園の子どもにも意見を聞くのか。
部会長	今度の「こども意見交換会」は、小学校の5・6年生と中学校の1・2年生が対象。
A 委員	意見を吸い上げる保護者の方も、5・6年生が対象か。
部会長	どこまでをターゲットにするのかということは、この会で決めていけたらいい。
A 委員	今から統廃合の当事者になってくる小さいお子さんも対象にできたらいい。
B 委員	「こども意見交換会」とはどういったものかイメージが湧きにくいと思う。事務局に説明を願いたい。
事務局	学校のあり方検討委員会の時に、養老町の学校教育においてどういった学校がいいか3つの願いが出された。その3つの願いに対して、目的を設定して子どもの意見を反映できるものは反映させていきたいということで「こども意見交換会」を実施したいと考えている。意見交換会は、岐阜聖徳学園大学の大学生を主体に進めていただこうと考えている。学生に進行等をお願いする。参加対象者は中学校1・2年生、小学校5・6年生を各学校から2名ずつ出していただき、ワーキンググループ方式でやりたいと考えている。1グループが大体6名から多くても8名程度。グループ編成は4つのグループに編成し、グループの中に大学生、中学生、小学生と入ってもらいワーキンググループを進めてもらう。当日の案としては、まず自己紹介をしてもらい、「養老町の好きなところ」「自分が住んでいるところの好きなところ」をアピールしてもらい、それを受けて大学生が感想を述べてもらう。その後、ワーキンググループ「のびのび過ごせる学校とはどんな学校ですか」をひとつのテーマとして、子どもたちがどのような学校にしたいのかを引き出せればと考えている。
部会長	意見交換会は8月7日に計画されている。予定としては、来年度も同じ時期に計画予定。
A 委員	総務部会のメンバーも、こども意見交換会に出席されるか。
教育長	時間があれば参加していただいても大丈夫。意見交換会で出た意見を集約して次の専門部会の総部部会をどういうふうにするかを考えていただきたい。子どもの意見を少ししか聞いていないので、もし、部会の中でもっと子どもの声を聞いた方がいいのではないか、という意見を出していただければそのような会を進めていくのはこの部会ではないかと考える。
部会長	意見交換会や住民説明会への持っていく方や内容を総務部会の中で考えてやっていくことにに関して賛成していただけるか、皆さんの考えを聞きたい。
A 委員	総務部会以外の他の部会では出来ないのではないか。
部会長	内容によっては、他の部会で出来ることもあるかもしれない。
A 委員	総務部会でやればいいのか。
D 委員	実際に意見交換会をやって、その意見を聞いてみないと分からない。
部会長	子どもの意見を聞くのは2回しかない。子どもの意見が再編に反映されるのか、形だけにならないか。例えば、学校に持って帰っていただいて学校や家庭で話しあってもらってもいいのではないか。子どもの意見をちゃんと反映させるために、総務部会で検討しませんか。
D 委員	今は反映できない。方向性はいいと思う。
教育長	子どもだけではなく、保護者や地区の意見を聞くなどをこの総務部会で話し合ってはどうか。
B 委員	せっかく意見交換会に出て意見を言うのであれば、代表で出席するが他に言うことはないかといったようなフォローをお願いしたい。コンサル主導ではまずいと思う。コンサルはあくまでオブザーバーであるべき。

教育長	コンサルには色々な資料を作成してもらうが、もちろんその前には事務局と何回も打ち合わせしている。
B 委員	我々の考えと保護者の考え、子どもの考えはそれぞれ違う。それをいかに吸い上げてもらうかが手腕だと思う。結果をきちんと紙で漏らさず開示してほしい。提案だが、大学生に作成を依頼してはどうか。事務局が作成すると偏る可能性がある。
教育長	CCnet が当日撮影する。皆さんに広く見てもらいたい。
B 委員	くれぐれも関係者が加工しないようにしていただきたい。
教育長	今回は、広いテーマで子どもたちに意見を聞きたい。
部会長	子どもたちの意見が出た時に、この部会の中で意見の集約をする。そこから先は色々な可能性がある。例えば、子どもたちが学校に投げかけをして話し合うこともできるし、家庭で話すこともできる。場合によっては地域の方を呼んで話すことも出来る。色々な意見があがってくるものを総務部会で考えていくのがいいかと考える。そのようなイメージでよい。
	(委員、了承)
部会長	住民説明会の素案は出来ていますか。
教育長	まだ出来ていない。前の説明会の時は、中学校区で1校ずつというのだけが分かっていたので各小学校を回った。まずは中学校区で1校ずつということできたいといった説明をした。今度は場所が決まっているので、出来れば養老小、笠郷小でやりたいと考えている。
部会長	住民説明会に関しても、総務部会で検討していくということであれば部会の中で進めていければ、と思うがいかがでしょうか。
E 委員	説明会は説明なので、意見をもらう会ではない。説明だけにしないと収集がつかなくなる。それ以外で意見を聞く機会を作るのであれば事務局が大変になると思うが、小さい隊員にしてやらないと収集がつかなくなる。
F 委員	もうひとつは、全校まわった方がいいと思う。個人的には2校だけだと、中には2校しか対象じゃないのかと思われる方もいると思う。
D委員	前回やった時は、けっこう若い方も来ていた。E委員が言ったとおり意見を聞くと収集がつかなくなる。それぞれの地域によって抱えている需要が違う。お手数かと思うが全校回ってほしい。
部会長	住民説明会についても総務部会で意見交換したいと考えるがよろしいか。
	(委員、納得)
部会長	意見交換会について、皆さんこんなことをテーマとして入れてほしい、というようなことがあると思うが、それも意見交換会に盛り込むことは可能か。
教育長	全ては無理かもしれないが、聞かせていただければと思う。
D委員	統合をした後に、地域の催しをした時に来てくれるかどうか。
G委員	各小学校の生徒が集まるのであれば各地区特色あるものがあるが、自分たちの学校で残したいものは何かというのを聞きたい。
D委員	大事にしたい残したいものを聞きたい。
G委員	説明会でも重要になってくる場面ではあると思う。子どもの素直な意見を聞きたい。

E委員	G委員の意見がとてもいいと思う。せっかくなら代表2人だけではなく、子どもに作文を書かせる とその一文が校歌になるかもしれない。
H委員	統合した後に、子どもたちの楽しみにしていることと心配なことは聞いてほしい。楽しみにしてい ることを膨らませていく、心配なことを解決してあげていくことが私たちの仕事だと思う。
教育長	意見交換会が始まりなので、焦って色々やるというよりは、今度の意見交換会を開催して、その 意見を受けて先を展開していきたい。
B委員	テーマは十分。もし、この意見交換会をもって何も動きがなければ、その方向を決めてあげる のがこの総務部会の役割だと思う。
部会長	来年の意見交換会は、総務部会で決めれるのか。
教育長	それは総務部会で決めていただいて結構。
部会長	スタートは、ランダムな子が集まる、そこから拾い上げたものを総務部会で肉付けをして、返し方 も子どもや保護者に返すことができるし、地域に返すこともできる。ひとつ考えているのは、中学 校でこども議会がある。自分たちで考えてこども議会で考えることもできる。また、その次の年は 明確になっているので、大人たちに提言できるというようなストーリーをもって進めていけると面 白くなると思う。子どもたちの心を耕していく。閉校する、新しく作る作業もどちらも大事な作業。 そういうことを描いていけたらと思う。いくつか委員から意見があったので意見交換会に反映し ていただければ。
教育長	はい。
部会長	住民説明会ですが、会場（何か所か）について何かご意見をいただければ。
B委員	住民説明会はいつぐらいに、どれぐらいの日数を予定しているのか。体育館でやるのか。
教育長	12月頃の予定をしている。私たちとしては、2回を考えている。もし小学校で行うことに抵抗が あるなら、高田中学校と東部中学校でも実施してもいいのではと考えている。
F委員	全小学校回ってほしい。一番大事なのは地域住民。2か所でしか説明会をしないということは 地域住民を無視しているとして反対意見も出ると思う。区長の集まりにも来てほしい。
教育長	住民説明会の前には、全ての区長が集まれる時に説明させていただいたし、行政懇談会でも 説明させていただいた。
B委員	今から違う意見を言おうとすると一定数でやらないとまずいと思う。個人的には、新校の2校で やった方が良くと思う。実際に通うのだから。
教育長	事務局としては1ヶ所か2ヶ所かで考えている。
E委員	前回は、学校をなくすということで非常にデリケートな内容のものだった。しかし、今回はなくすこ とは分かっていて、場所はここになりましたといった、少し付け足すぐらいのことなので、それほど デリケートではない。もし、私が事務局だったら2ヶ所でお願ひします、と言うと思う。
F委員	私たちは、跡地利用に一番関心を持っている。
E委員	跡地利用は別の話で、区長会とかでしてもらおう話。
D委員	今年、説明会を行い、来年も行うのか。
教育長	来年も実施する予定。具体的になってくると、実施しないといけないと思っている。
F委員	子どもファーストというのであれば地域住民のことも考えてもらわなければいけない。
B委員	例えば、行政懇談会とかで跡地利用やバスの問題など出す予定か。
F委員	それはしない。館長が必要ないと言った。地区によって色々あると思う。
B委員	まったく新しい問題が発生していて、ものすごく多くの住民の声が拾い切れていないこの準備

教育長	委員会という指摘につながりませんか。そういう場を設ける設けないは別として。 事務局としては、全て行政懇談会や区長が集まる場でも説明させていただき、さらには、住民説明会も7ヶ所開催して説明をさせていただいた。HPにも掲載してきた。これ以上どうしたらいいか分からない。
部会長	体育館は各地区の避難所として利用する予定ですよね。学校は閉じるけれども、体育館は地区の防災の拠点として残すということは周知しているのか。
教育長	周知している。
D委員	跡地利用はどこも抱えている問題だが、この総務部会で話し合おうと思うと土俵が違うと思う。話がごっちゃになってしまう。
A委員	同じ土俵では話し合えない。どこかの会社が閉校した学校を買ってくればそれが一番理想的。跡地は誰が管理するのかという問題だが、維持をするのもすべてお金がかかってくる。
D委員	体育館だけではなくグラウンドや敷地全て。ボランティアで地域住民が草刈りをしないといけなくなる。
E委員	地域の合意形成なくして跡地利用の方向性を決めることはないかと思う。おそらく地域に何を利用したいかと投げかけると思う。地域の方の合意をもって進めていくと思う。
部会長	各地区の方で、跡地についての意見をあげてもらおうということでもいいですか。
B委員	跡地利用の話が出てくるのは秋頃ではないか。その頃までに意見をまとめておくのが良いのではないか。
部会長	個人的には、1回でも何回でもいい。例えば、動画を作成して CCnet などでも流してもいいし、YouTube などでも流してもいい。そういった方法をとれば広く周知できると思う。
G委員	意見交換会の映像をもう1回住民説明会の時期に流せないか。心のケアにもなるのではないか。
部会長	集約した子どもや保護者、地域住民の声を住民説明会の時に出せば一番説得力があるものになる。色々なところで吸収されるという声を聞く。仮称をつけてはどうか。
教育長	仮称をつけてしまうとそれがひとり歩きしてしまう。事務局としては仮称はやめたい。吸収されるのではないということを委員さんたちに広めていただきたい。
部会長	総務部会のメンバーが区長会長及び公民館代表であることから、総務部会が担う合意形成と準備委員会・総務部会での決定事項や進捗状況を確実に地域住民に伝えたりすることで今後も協議を進めていきたい。
	◆次回の総務部会は、8月26日（水）で決定。 午後8時50分閉会

